

「手部骨折患者における痛みの破局的思考と健康関連 QOL の関連」
研究に対するご協力をお願い

帯広厚生病院 作業療法士
北海道医療大学大学院リハビリテーション科学研究科博士課程前期
研究実施者 大本 慎也

1. この研究について

怪我が治っても痛みが続いてしまう慢性疼痛は、様々な作業をしても痛みのことをずっと考える、痛みを過剰に考える、痛みに対して何もできないといった「破局的思考」という考え方が関係すると言われていています。しかし、この破局的思考が Quality of life（人生の質：以下 QOL）と関連するのかはまだわかっていません。

そこで、手首から先の部分の骨折を受傷された方の慢性疼痛と破局的思考は、健康関連 QOL と関連しているかを明らかにしたいと考えています。

2. この研究の意義

破局的思考と関連の強い要因を明らかにすることで、より早くから破局的思考を改善するための関わりができる可能性があります。将来的には慢性疼痛予防の一助となることができるかもしれません。

3. 研究の方法

データの収集方法は質問紙を用いて行い、全て研究代表者が行います。質問紙への回答時間は、約 5 分です。痛みの度合いと、破局的思考の質問紙は 13 項目の設問に対して 5 件法で回答して頂きます。健康関連 QOL の質問紙は 8 項目の設問に対して 5 件法で回答して頂きます。それぞれ、受傷または術後 3 か月時に一度実施させて頂く予定です。

4. 予想される利益と不利益

ご協力に際して 5 分ほどのお時間を頂いて、質問紙に記入して頂きます。金銭等の不利益はありません。利益は本調査において、痛みとそれに関連する心理的状況の把握が可能となります。今後の作業療法において、重要な基礎資料となる可能性があります。

5. ご協力をお願いすること

ご協力は任意です。協力頂ける場合、同意書への署名を経たうえで各質問紙へ回答をお願いいたします。回答時間は 5 分ほどとなっております。

6. 研究実施予定期間と参加予定者数

研究実施機関は 2021 年 9 月までを予定しております。参加予定者数は 40 名を予定しております。

7. 研究への参加とその撤回について

研究への参加は任意となっております。また、いつでも撤回することができます。もし

途中で参加を取りやめたとしても、なんら不利益を被ることがないようにお約束いたします。

8. 研究への参加を中止する場合について

もし中止される場合は、研究窓口（大本）までいつでも連絡頂くことが可能です。

9. この研究に関する情報の提供について

本研究で得られた情報は、本研究以外の情報提供などには一切使用されません。

研究の成果は、学会発表および論文として公開します。

10. 個人情報の取扱いについて

質問紙に名前などの個人情報に記載は不要です。匿名化した情報として統計処理を行います。資料や記録した全ての情報は、勤務先である帯広厚生病院にある鍵のかかる保管庫で厳重に保管し、研究終了後に適切に破棄します。本研究では、個別データの公表はなく、プライバシーは完全に保護されます。

11. 健康被害が発生した場合の補償について

本研究は患者さんの現状を調査する研究ですので、健康被害が発生することはありません。

12. 費用負担、研究資金などについて

費用などの負担はありません。研究資金に関して援助等は受けていません。

13. 研究組織

【研究責任者と連絡先】

大本 慎也（おおもと しんや）

[連絡先] 〒080-0024 北海道帯広市西 14 条南 10 丁目 1 番地

JA 北海道厚生連 帯広厚生病院 医療技術部 作業療法技術科

電話：0155-65-0101（代表） Fax：0155-65-0105

E-mail：oomo04h@hoku-iryo-u.ac.jp

【指導教員】

北海道医療大学 リハビリテーション科学研究科 教授 本家 寿洋

[連絡先] 〒061-0293 北海道石狩郡当別町金沢 1757

電話：0133-23-1211

E-mail：honke@hoku-iryo-u.ac.jp